

令和 3 年 6 月 23 日現在

機関番号：32641

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2017～2020

課題番号：17K03145

研究課題名(和文)近代朝鮮におけるミシンと女性-日本と朝鮮の近代性の比較を通して-

研究課題名(英文) Sewing Machines and Women in Modern Korea -Comparing Modernity between Japan and Korea

研究代表者

イ ヒョンナン (Yi, Hyeongnang)

中央大学・総合政策学部・教授

研究者番号：20328032

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,000,000円

研究成果の概要(和文)：本研究の課題は朝鮮の開港期・植民地時代においてミシンの需要が創出される過程を、ミシンの生産・流通・消費のありようを通して明らかにする。1)ミシンの保有・普及率の究明およびミシンの供給側であるミシン製造・販売会社のありようを究明する。2)ミシンの需要が創出されていく過程での内在的要因の究明 日韓比較 朝鮮服は日本の和服とは異なって、ミシンで作ることができる衣服であった。普及の担い手たち：日本においてミシンの普及のためには洋裁学校の存在やミシン教師という職業婦人を必要としたが、朝鮮では婦人会や各新聞社、基督教青年会、権友会など民族運動団体が中心となって、家庭主婦を対象にミシン裁縫講習会を開いた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

従来、朝鮮を対象にしたミシンの生産・流通・消費の総合的研究は、日本、韓国、欧米を含めて皆無であること、また、これまでの研究の大半の研究が生産に焦点を当てていることから、本研究の独創性・先駆性を主張できる。

日本植民地支配下にあった朝鮮近代史の総体的把握という課題においても、生活史・女性史の視点は欠かすことのできない視点といえる。本研究により、ミシンという一つのものを通してこれらを解明することは、大きな役割を担うことである。

研究成果の概要(英文)：The purpose of this research is to show the process of increasing demands for sewing machines in the open port /colonial period in Korea, with focusing on the production, distribution, and consumption of sewing machines. 1) To determine the owning and spreading rate and the condition of the manufacturers and suppliers of sewing machines. 2) Locating underlying factors spreading demands for sewing machines: Comparing between Japan and Korea Traditional clothes in Korea, in contrast to those in Japan, were able to be produced by means of sewing machines. Key players popularizing sewing machines: In case of Japan, dressmaking schools and sewing machine teachers (a type of career women) took important roles of spreading sewing machines. Nevertheless, this research shows that in Korea, the primary roles were taken by sewing machine seminars for housewives by women's association, newspaper companies, Christian youth associations, and nationalist groups such as Kinyu-kai.

研究分野：歴史学

キーワード：ミシン シンガーミシン 女性 ミシン裁縫講習会 東亜日報・朝鮮日報

して私をこの研究に歩を出す決定的契機は、日本本土と朝鮮半島の所得水準の大きな格差にもかかわらず、ミシンの普及率がほとんど変わらなかったという事実である。

2. 研究の目的

本研究の課題は朝鮮の開港期・植民地時代(1876-1945年)においてミシンの需要が創出される過程を、ミシンの生産、流通、消費のありようを通して明らかにする。具体的にはそれらがいかなる担い手によりいかなる契機によってすすめられたのかに着目しつつ、特に「ミシンと女性」を通して「朝鮮の近代(近代化、近代性)」の特徴を明らかにすることである。留意したと考えているのは、日本(本土)におけるミシンの需要の創出過程との対比(比較)することで植民地朝鮮の近代性・近代化の特徴が浮き彫りにされる。

3. 研究の方法

1) ミシンの保有・普及率の究明: アメリカおよび日本に関しては朝鮮への輸移出の統計の分析及び販売策。それを反面から補強するための朝鮮の輸移入統計の分析し、明らかにする。 文献調査

2) ミシンの供給側であるミシン製造・販売会社のありようの究明

A. シンガーミシン: 植民地時代の朝鮮のミシン市場で第一のシェアを占めていたシンガーミシンの輸出統計、販売策などを明らかにする。シンガーは世界戦略としての月賦販売のシステムを採用したが、支払い遅延に対する厳格なペナルティは多くの悲劇とトラブルを生んでいる。朝鮮という伝統的文化を多く残す地に、このシステムが取り入れられたとき、どんなトラブルが引き起こされたか、そしてその販売方法がいかにしてこの地に馴染んでいったかを追求する。 文献調査

B. 日本製ミシン: 戦時期に入ると、蛇の目ミシンなどの日本製が移入されていくが、シンガーミシンとの販売策の相違、共通点をシンガーとの比較しつつ、分析する。 文献調査と聞き取り調査

C. 朝鮮製ミシン: また、日本占領期末期には、朝鮮製ミシンが出回るようになるが、その実態を明らかにする。 文献調査と聞き取り調査

3) 使い手(需要者)の研究 彼女らの生活と心の襞に分け入った分析を行う: 文献調査および聞き取りおよびアンケート調査

ミシンの需要が創出されていく過程での内在的要因の究明 日韓比較

朝鮮服は日本の和服とは異なって、ミシンで作ることができる衣服であった。つまり朝鮮服は機械がもつ近代的合理性をすぐ発揮できる性質を備えていたのである。したがって朝鮮におけるミシンの需要の高まりには日本のように洋装の普及を必要条件とせず、朝鮮半島にはミシンの消費市場が広がる潜在的基盤があったことを究明したい。

ところで、日本においてミシンの普及のためには洋裁学校の存在やミシン教師という職業婦人を必要としたが、朝鮮では婦人会や各新聞社、基督教青年会、権友会など需要側の民族運動団体が中心となって、「生活の合理化」「経済的」「子供服は母親の手で」などのスローガンのもとに、1920年から1937年まで家庭主婦を対象にミシン裁縫講習会を開いた。

ここでは、『東亜日報』『朝鮮日報』社などの民族紙主催の講習会の役割を究明したい。朝鮮の

民族紙は、「人民のなかへ」などのスローガンのもとに、庶民の啓蒙に力を注いだのである。

4．研究成果

従来、朝鮮を対象にしたミシンの生産・流通・消費の総合的研究は、日本、韓国、欧米を含めて皆無であること、また、これまでの研究の大半の研究が生産に焦点を当てていることから、本研究の独創性・先駆性を主張できていると思っている。

また、日本における植民地史研究は、従来中心であった政治史・運動史・経済史研究に加えて、近年ではポスト・コロニアル論などの新たな視点に刺激を受け、教育・文化・衛生などを対象とした生活史研究が盛んに進められ都市史分野で成果が挙げられている。だがその中で、植民地生活史・女性史研究はまだ緒についたばかりというのが現状である。

歴史研究における生活史・女性史の視点の重要性は学会でも認められるところであり、特に日本植民地支配下にあった朝鮮近代史の総体的な把握という課題においても、生活史・女性史の視点は欠かすことのできない視点といえる。本研究により、ミシンという一つのものを通してこれらを解明することは、上記の視点を加えるという意味で大きな役割を担うことだった。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計0件

〔学会発表〕 計1件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 0件）

1. 発表者名 イヒョンナン
2. 発表標題 近代朝鮮におけるミシンと女性
3. 学会等名 中央大学政策文化総合研究所
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------